

令和3年度 CREST「ゲノム合成」若手チャレンジ

1. 目的

本領域の掲げる「ゲノムスケールのDNA合成」の低コスト化に向けた新しい合成法に繋がるような挑戦的研究、新規モデル生物の探索といった本領域の裾野を広げるような萌芽的研究を支援し、本領域の目標である「物質生産や医療の技術シーズの創出」を推進することを目的とする。また若手研究者が、領域全体の研究進展やポートフォリオ的に重要なテーマに主体的に関わることで、自身の研究を見直し、新たなモチベーションを持って研究に取り組んでもらう。

2. 概要

本領域研究者で、本領域から直接予算を配分されていない若手研究者を対象とし、領域方針に合致した領域全体に資する研究を支援する。

3. 予算・研究期間

1件あたりの予算は最大300万円、期間は2022年3月末までとする。但し、翌年度継続を希望する場合は、1年に限り再申請可能（領域会議における若手チャレンジ採択者の進捗報告の内容も踏まえて、再審査を行い、総括が継続すべきと判断する研究は、総括裁量経費等により2023年3月末まで延長する場合がある）

4. 選考・採択、報告義務

研究者から提出された研究提案書を研究領域総括が審査し、採択課題を決定する。採択者は領域会議での進捗報告および年次報告書への研究報告記載が必要。

令和3年度 CREST「ゲノム合成」若手チャレンジ採択者

新規

チーム	グループ	氏名	所属	課題名
宮田チーム	塩見G	林 匡史	立教大学	合成細菌JCVI-Syn3.0Bを用いた、新しい細胞分裂制御メカニズムの解明
宮田チーム	RobinsonG	千住 洋介	岡山大学	真核生物進化の新規モデル生物—アスガルド古細菌の機能探索
山西チーム	山西G	鳥取 直友	九州大学	細胞内包液滴と支柱配列流路を用いたオンチップ電氣的細胞融合デバイスの開発
松永チーム	松永G	坂本 卓也	東京大学	Hi-C解析によるゲノムスケールのDNAを安定維持できる挿入位置の同定

継続

チーム	グループ	氏名	所属	課題名
阿部チーム	阿部G	橋谷 文貴	名古屋大学	環状様PCR産物とヒストンタンパクを用いた細胞内DNA連結手法の開発
末次チーム	末次G	鈴木 祥太	立教大学	ゲノムからの無細胞タンパク質合成系の起動に向けた研究
野地チーム	村岡G	内田 紀之	東京農工大学	分子オプトキャリアを利用した長鎖DNAの生細胞内への導入